

平成29年度 世田谷区立桜丘小学校 学校関係者評価委員会からの提言

重点目標に関する結果等

本年度、本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、次の3点で桜丘小学校へ提言します。
 1、「思いやりのある、優しい子供」の育成
 2、「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成
 3、「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成
 【備考】各円グラフ左下の表は、肯定的評価（「とても思う」+「思う」）の推移を示します。

【学校関係者評価委員会】 ◎委員長
 ◎稻田 正克：地域、元目黒区立小学校長
 菊川 晃夫：学識経験者、国士館大学教授
 二川 早苗：元保護者、地域、横浜国立大学後援会顧問
 元世田谷区立小学校PTA連合協議会会長
 松原 信行：元保護者、元PTA会長、同窓会長
 国士館中学・高等学校保護者会長
 石綿 陽子：保護者、PTA役員
 橋村 裕行：新BOP事務局長

◆ 次年度に向けての提言 ◆

平成30年度も「世田谷区教育要領」に基づいた教育課程の編成や質の高い授業を通して、「知・徳・体」の調和のとれた児童を育成することが重要である。そのためには、学校だけでなく、保護者、地域との連携を図り、協力して教育活動を推進していかなければならない。今年度も、学校からの情報発信が更に充実してきたが、地域に対しては更なる改善が求められる。そこで、本委員会は、次の3点の提言を行う。

1、「思いやりのある、優しい子供」の育成

- 「他者を大切にする」「気持ちのよいあいさつのできる」児童の更なる育成を図るために、全校朝会や学年朝会を通じ、繰り返し指導を充実、発展させていただきたい。特に、助け合いや異学年交流・花の子交流活動での学年に応じた役割を身に付けられるよう指導していただきたい。
- 自他の尊重を意識させ、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に繋げるため、「言葉遣い」にも指導を広げ、他者を思いやる温かい言葉の涵養を図っていただきたい。

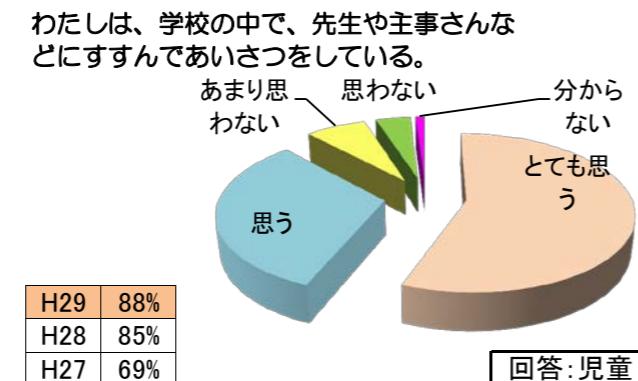
2、「ものごとをよく考え、向上しようとする子供」の育成

- 落ち着いた学習環境を保証し、その環境が、子供の学力を向上させることに繋がるため、ユニバーサルデザインの視点を中心とした授業内容、展開の工夫を継続発展してさせていただきたい。併せて、全学年が共通して取り組めるような学びや生活のルール「花の子スタンダード」を更に充実発展させていただきたい。

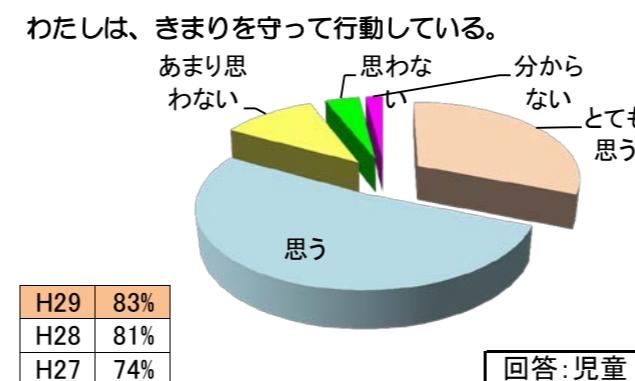
3、「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

- 早寝・早起き・朝ごはんの大切さを学校保健委員会だけでなく、様々な機会を通じて、啓蒙していただきたい。保護者、地域と学校との連携・協力を充実させていただきたい。
- 今年度も行っている「花の子体力つくり」や始業前の校庭遊び奨励など、次年度も発展、充実させていただきたい。

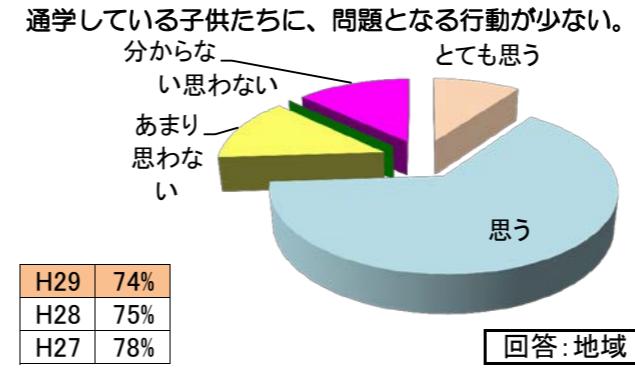
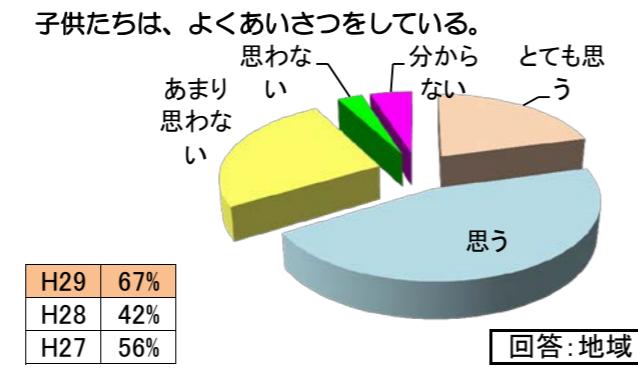
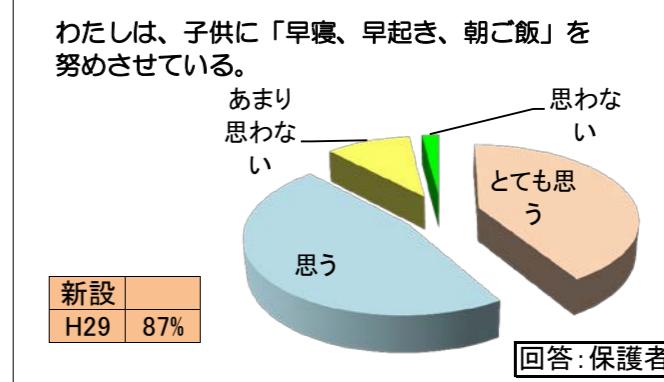
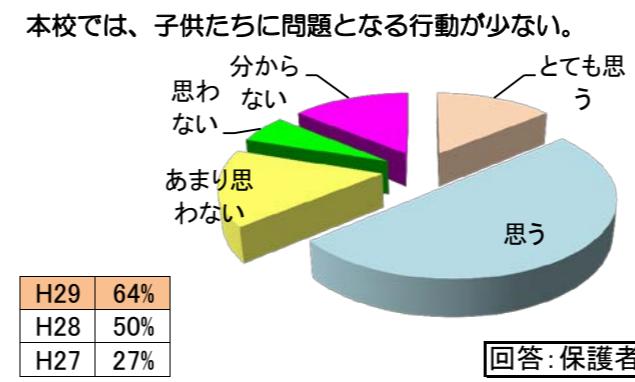
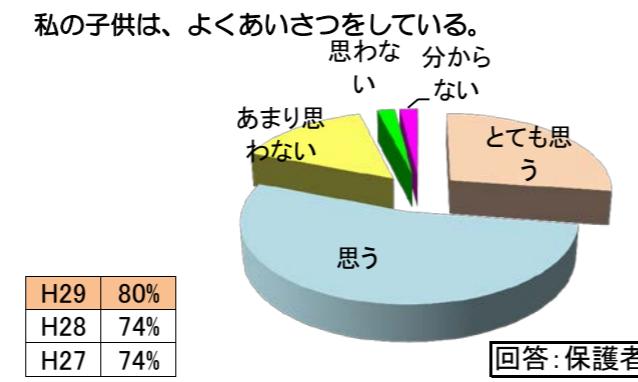
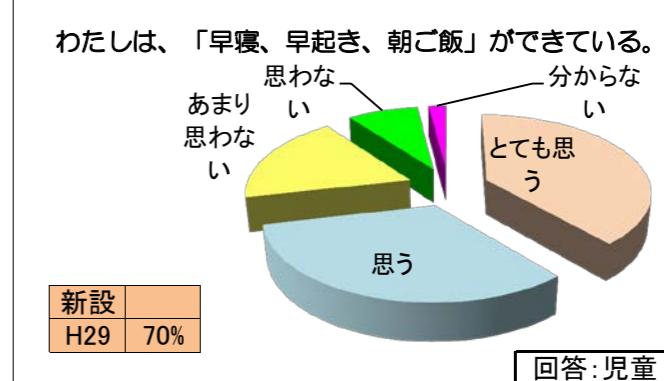
思いやりのある、優しい子供 「気持ちのよいあいさつのできる子供」の育成



ものごとをよく考え、向上しようとする子供 「落ち着いた学習環境」の保証



体を丈夫にし、明るい心をもつ子供 「快食・快眠・快運動」の継続、充実



◆児童の自発的な挨拶について、児童自身は88%と高い肯定的評価を示している。保護者も80%と増加し、地域でも67%と肯定的評価が伸びてきている。

◆学校では、全校朝会や学年朝会で、「立ち止まって、お辞儀をしてあいさつする姿が目立った」「帽子をとって挨拶している」等のよさの現れを校長や担任が伝え、子供たちの自発的な挨拶を高く評価している。

◆昨年度から学校経営重点目標である「他者（相手）の存在を尊いものと認め、その心（気持ち）を形（態度・行動）として表すことができる児童の育成」の具体的な姿として、「あいさつ」を継続的に取り組んできた成果が、学校内では十分に見られている。さらに、その「あいさつ」の姿が、家庭や地域の中でも、発揮されてきている。

◆本校を含めた桜丘中学校、笹原小学校で構成される「さくらの学び舎」で平成27年度、28年度と「学び舎で実現するインクルーシブ教育システム～特別支援教育の視点を生かした学習指導で、すべての子供たちの学力を伸ばす～」の合同研究が行われた。今年度も、ユニバーサルデザインの視点で、クラスの誰にとってもわかりやすい教室環境や学習環境を整えてきたとの報告を受けている。例えば、新しく、今までに経験のない場面では、変化が苦手な児童にとっては、不安が高まりやすくなる。そのようなときに、見通しがもてるよう、スケジュールや活動内容をわかりやすく伝える支援が、どのクラスでも定着してきた。このことが、児童の問題行動の減少に対する保護者の肯定的評価の変容にも表れている。

◆上記の成果が、教室環境や学習環境の充実につながり、その結果として更なる学力の向上にも反映されるように期待する。

◆学校関係者評価1年間の取組◆

1学期・第1回 学校関係者評価委員会開催

2学期・第2回 学校関係者評価委員会

○学校関係者評価アンケート学校独自項目の検討

11月・学校関係者評価アンケート児童、保護者実施

12月・区教育委員会から学校関係者評価アンケート集計結果報告

3学期・学校だより「花の子」1月号で

○学校関係者評価アンケート集計結果の速報値報告

1月、2月・第3、4回 学校関係者評価委員会

○学校関係者評価アンケート結果や学校公開参観、教職員へのヒアリングから、「学校関係者評価報告書（概要版）」、「学校関係者評価委員会からの提言」を検討、作成

あいさつを進んでしている	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	56	32	7	4	1
私の子供は、よくあいさつができる	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	27	53	15	2	2
子供たちは、よくあいさつをしている	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	21	46	26	3	5
わたしは、きまりを守って行動している。	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	31	52	11	4	2
子供たちに問題となる行動が少ない。	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	14	50	16	6	14
通学している子供たちに、問題となる行動が少ない。	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	10	64	13	0	13
早寝、早起き、朝ご飯ができている。	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	38	32	18	8	2
子供に、早寝、早起き、朝ご飯を努めさせている。	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	41	46	10	2	0
早く寝るように声をかけている	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	分からぬ
	49	43	7	1	0